第５　決算の状況

１　一　般　会　計

第 5　決算の状況

1　一般会計

(1)　歳入の状況

歳入決算は、次のとおりである。

予 算 現 額	2,949 億 4,911 万 6,000 円	収入率（対予算現額）	95.8%
調　定　額	2,857 億 5,015 万 1,783 円	収入率（対調定額）	98.9%
収 入 済 額	2,825 億 8,484 万 6,821 円	（還付未済額 3,508 万 4,112 円を含む）	
不納欠損額	3 億　110 万 1,894 円		
収入未済額	28 億 9,928 万 7,180 円		

予算現額に対する収入率は、95.8%（前年度 96.0%）である。収入済額は 2,825 億 8,484 万 6,821 円で、前年度と比較し 128 億 9,836 万 3,956 円の増であり、増減率は 4.8%増となった。

調定額に対する収入率は、98.9%（前年度 98.9%）である。

予算現額は、前年度と比較し 140 億 6,920 万 9,700 円の増（5.0%増）となった。予算現額の内訳は、当初予算額 2,784 億 5,300 万円、補正予算額 158 億 300 万円、継続費及び繰越事業費繰越財源充当費 6 億 9,311 万 6,000 円である。

不納欠損額は、前年度と比較し 4,186 万 7,264 円の増（16.2%増）となった。

還付未済額は、前年度と比較し 4,203 万 4,518 円の減（54.5%減）となった。

収入未済額は、前年度と比較し 1 億 123 万 1,313 円の増（3.6%増）となった。

歳入決算の款別内訳は、第 14 表のとおりである。

第 14 表　款別歳入決算

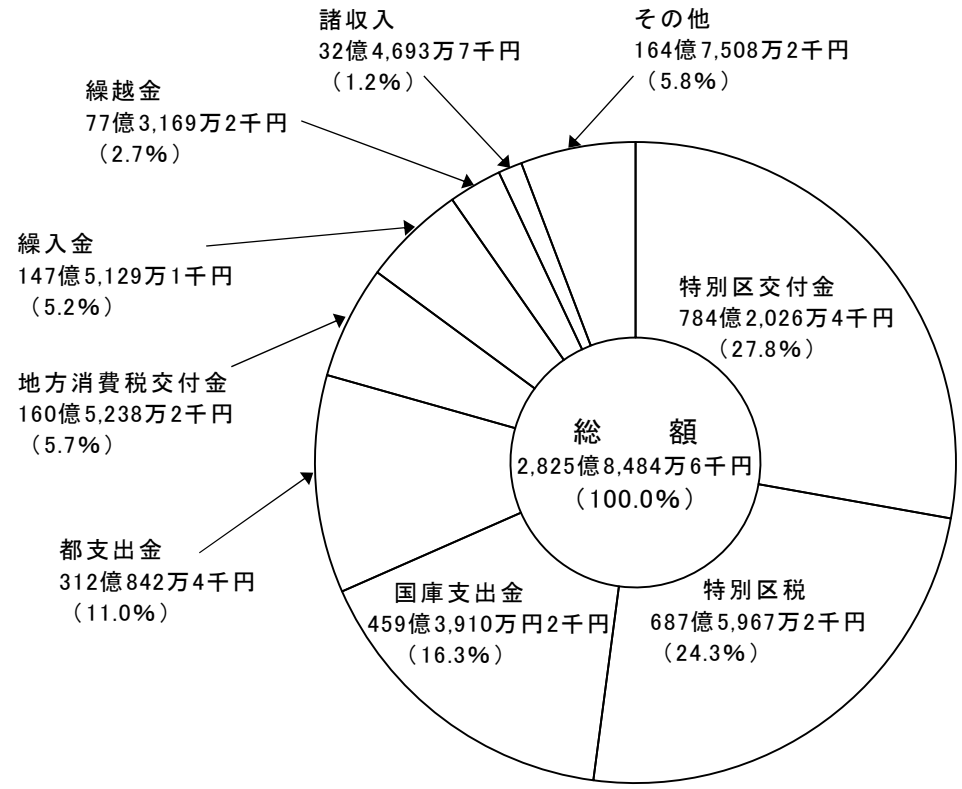
区　分	予算現額	調定額	収入済額	還付未済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
							対予算	対調定
	円	円	円	円	円	円	%	%
特別区税	68,550,313,000	69,654,879,016	68,759,671,743	34,477,104	77,757,100	851,927,277	100.3	98.7
地方譲与税	727,000,000	737,431,000	737,431,000	0	0	0	101.4	100.0
特別区交付金	76,641,365,000	78,420,264,000	78,420,264,000	0	0	0	102.3	100.0
利子割交付金	581,000,000	590,598,000	590,598,000	0	0	0	101.7	100.0
配当割交付金	1,352,000,000	1,784,719,000	1,784,719,000	0	0	0	132.0	100.0
株式等譲渡所得割交付金	2,044,000,000	2,693,458,000	2,693,458,000	0	0	0	131.8	100.0
地方消費税交付金	15,769,000,000	16,052,382,000	16,052,382,000	0	0	0	101.8	100.0
ゴルフ場利用税交付金	26,000,000	25,706,310	25,706,310	0	0	0	98.9	100.0
環境性能割交付金	206,000,000	209,710,783	209,710,783	0	0	0	101.8	100.0
地方特例交付金	355,262,000	355,262,000	355,262,000	0	0	0	100.0	100.0
交通安全対策特別交付金	45,000,000	42,563,000	42,563,000	0	0	0	94.6	100.0
分担金及び負担金	2,202,354,000	2,217,841,061	2,192,866,541	352,140	2,969,700	22,356,960	99.6	98.9
使用料及び手数料	3,167,934,000	3,164,084,490	3,153,391,167	26,500	0	10,719,823	99.5	99.7
国庫支出金	47,052,226,000	45,938,916,608	45,939,101,964	185,356	0	0	97.6	100.0
都支出金	33,903,559,000	31,208,424,267	31,208,424,267	0	0	0	92.1	100.0
財産収入	1,221,779,000	1,221,884,391	1,221,884,391	0	0	0	100.0	100.0
寄付金	633,522,000	916,492,786	916,492,786	0	0	0	144.7	100.0
繰入金	24,103,944,000	14,751,290,631	14,751,290,631	0	0	0	61.2	100.0
繰越金	7,731,692,000	7,731,692,375	7,731,692,375	0	0	0	100.0	100.0
諸収入	3,105,166,000	5,481,552,065	3,246,936,863	43,012	220,375,094	2,014,283,120	104.6	59.2
特別区債	5,530,000,000	2,551,000,000	2,551,000,000	0	0	0	46.1	100.0
歳入合計	294,949,116,000	285,750,151,783	282,584,846,821	35,084,112	301,101,894	2,899,287,180	95.8	98.9

歳入決算総額に対する款別構成比は、第 15 表及び第 7 図のとおりである。

第 15 表　歳入決算内訳及び対前年度比較

区　分	7 年 度			6 年 度			比較増(△)減
	決 算 額 A	構成比	対前年度増減率	決 算 額 B	構成比	対前年度増減率	差　引 C=A−B
	円	%	%	円	%	%	円
特別区税	68,759,671,743	24.3	10.5	62,211,605,850	23.1	0.5	6,548,065,893
地方譲与税	737,431,000	0.3	1.5	726,884,000	0.3	0.1	10,547,000
特別区交付金	78,420,264,000	27.8	5.5	74,348,164,000	27.6	8.6	4,072,100,000
利子割交付金	590,598,000	0.2	87.8	314,529,000	0.1	40.5	276,069,000
配当割交付金	1,784,719,000	0.6	9.7	1,627,295,000	0.6	36.5	157,424,000
株式等譲渡所得割交付金	2,693,458,000	1.0	12.9	2,385,055,000	0.9	85.7	308,403,000
地方消費税交付金	16,052,382,000	5.7	8.0	14,864,524,000	5.5	5.2	1,187,858,000
ゴルフ場利用税交付金	25,706,310	0.0	1.0	25,451,370	0.0	6.0	254,940
環境性能割交付金	209,710,783	0.1	△ 21.8	268,136,437	0.1	33.1	△ 58,425,654
地方特例交付金	355,262,000	0.1	△ 87.7	2,892,455,000	1.1	636.9	△ 2,537,193,000
交通安全対策特別交付金	42,563,000	0.0	△ 2.5	43,640,000	0.0	0.1	△ 1,077,000
分担金及び負担金	2,192,866,541	0.8	△ 30.0	3,130,758,716	1.2	△ 9.6	△ 937,892,175
使用料及び手数料	3,153,391,167	1.1	4.3	3,023,302,065	1.1	△ 0.9	130,089,102
国庫支出金	45,939,101,964	16.3	9.6	41,915,620,525	15.5	2.4	4,023,481,439
都支出金	31,208,424,267	11.0	△ 2.9	32,139,230,635	11.9	23.9	△ 930,806,368
財産収入	1,221,884,391	0.4	34.0	911,929,376	0.3	28.6	309,955,015
寄付金	916,492,786	0.3	63.6	560,256,619	0.2	△ 0.3	356,236,167
繰入金	14,751,290,631	5.2	50.8	9,783,862,607	3.6	114.9	4,967,428,024
繰越金	7,731,692,375	2.7	△ 15.4	9,135,268,415	3.4	9.0	△ 1,403,576,040
諸収入	3,246,936,863	1.2	3.6	3,134,514,250	1.2	0.5	112,422,613
特別区債	2,551,000,000	0.9	△ 59.1	6,244,000,000	2.3	91.8	△ 3,693,000,000
歳入合計	282,584,846,821	100.0	4.8	269,686,482,865	100.0	11.2	12,898,363,956

第 7 図　歳入決算款別構成



以下、歳入について款別に述べる。

ア　特別区税［収入済額　687 億 5,967 万 1,743 円］

特別区税の決算状況は、第 17 表のとおりである。

予算現額に対する収入率は 100.3%である。収入済額は、前年度と比較し 65 億 4,806 万 5,893 円の増となり、増減率は 10.5%の増（前年度 0.5%増）となった。

調定額に対する収入歩合は 98.7%（前年度 98.9%）であった。

歳入全体に占める特別区税の構成比は 24.3%（前年度 23.1%）となっている。

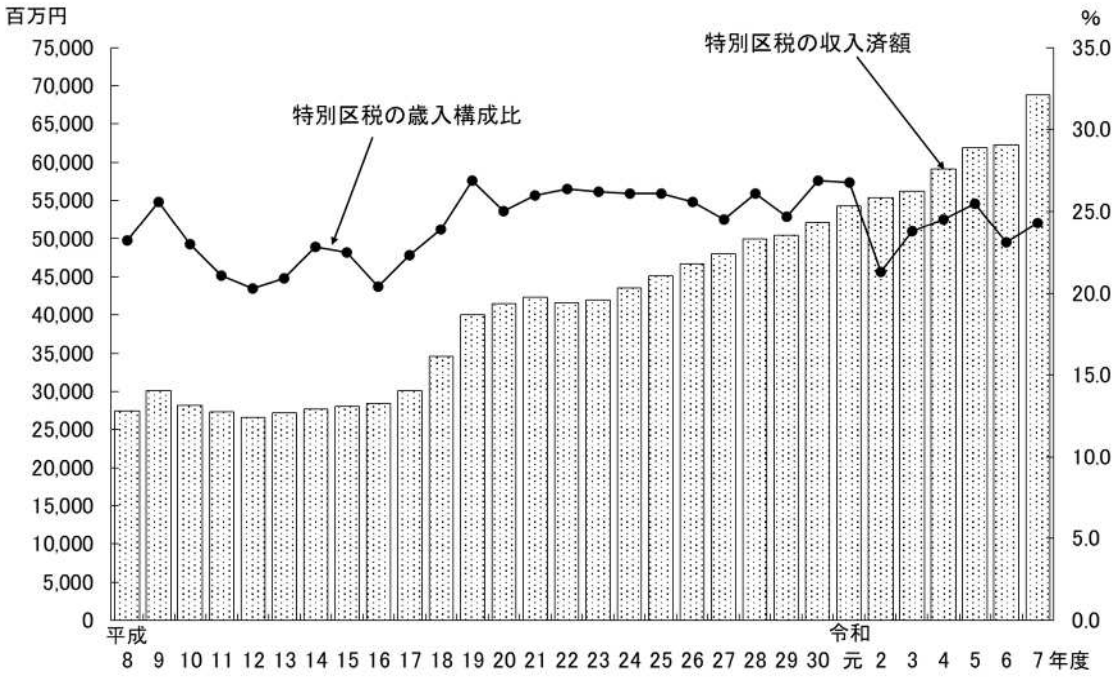
なお、過去 5 年間における特別区税の歳入構成比の推移は、第 16 表のとおりである。

第 16 表　特別区税の歳入構成比の推移

区　　分	3　年　度	4　年　度	5　年　度	6　年　度	7　年　度
収　入　済　額	56,216,979千円	59,092,445千円	61,878,240千円	62,211,606千円	68,759,672千円
収入済額対前年度増減率	1.6%	5.1%	4.7%	0.5%	10.5%
歳入全体の構成比	23.8%	24.5%	25.5%	23.1%	24.3%

平成 8 年度から令和 7 年度までにおける特別区税の収入済額及び歳入構成比の推移は、第 8 図のとおりである。

第 8 図　特別区税の収入済額及び歳入構成比の推移



第 17 表　特別区税（税目別）決算額の対前年度比較

区分			7年度						
			調定額 A	収入済額 B	収入歩合 C = B/A	収入済額構成比 D	還付未済額 E	不納欠損額 F	収入未済額 G = A−(B−E)−F
			円	円	%	%	円	円	円
特別区民税	現年課税分	現年度分	64,180,278,078	63,800,308,234	99.4	92.8	32,991,208	3,383,284	409,577,768
		普通徴収	12,528,480,340	12,209,361,874	97.5	17.8	6,571,950	3,221,269	322,469,147
		特別徴収	51,651,797,738	51,590,946,360	99.9	75.0	26,419,258	162,015	87,108,621
		過年度分	412,889,714	311,911,301	75.5	0.4	494,185	1,349,521	100,123,077
		計	64,593,167,792	64,112,219,535	99.3	93.2	33,485,393	4,732,805	509,700,845
	滞納繰越分		720,732,336	311,580,638	43.2	0.5	643,011	72,640,553	337,154,156
	合計		65,313,900,128	64,423,800,173	98.6	93.7	34,128,404	77,373,358	846,855,001
諸税	軽自動車税	環境性能割	18,490,900	18,490,900	100.0	0.0	0	0	0
		種別割 現年課税分	217,607,500	215,097,987	98.8	0.3	343,100	66,000	2,786,613
		種別割 現年度分	217,456,800	214,947,287	98.8	0.3	343,100	66,000	2,786,613
		種別割 過年度分	150,700	150,700	100.0	0.0	0	0	0
		種別割 滞納繰越分	3,985,735	1,387,930	34.8	0.0	5,600	317,742	2,285,663
		種別割 計	221,593,235	216,485,917	97.7	0.3	348,700	383,742	5,072,276
		合計	240,084,135	234,976,817	97.9	0.3	348,700	383,742	5,072,276
	特別区たばこ税	現年課税分	3,961,313,303	3,961,313,303	100.0	5.8	0	0	0
		現年度分	3,961,313,303	3,961,313,303	100.0	5.8	0	0	0
		過年度分	0	0	−	−	0	0	0
		滞納繰越分	0	0	−	−	0	0	0
		計	3,961,313,303	3,961,313,303	100.0	5.8	0	0	0
	入湯税	現年課税分	139,581,450	139,581,450	100.0	0.2	0	0	0
		現年度分	137,087,400	137,087,400	100.0	0.2	0	0	0
		過年度分	2,494,050	2,494,050	100.0	0.0	0	0	0
		滞納繰越分	0	0	−	−	0	0	0
		計	139,581,450	139,581,450	100.0	0.2	0	0	0
	合計		4,340,978,888	4,335,871,570	99.9	6.3	348,700	383,742	5,072,276
総計			69,654,879,016	68,759,671,743	98.7	100.0	34,477,104	77,757,100	851,927,277

	6 年 度			比 較 増 （△） 減			
			収 入	調 定 額		収 入 済 額	
	調 定 額	収 入 済 額	歩 合	金 額	増 減 率	金 額	増 減 率
	H	I	J = I/H	K = A−H	K/H	L = B−I	L/I
	円	円	%	円	%	円	%
	57,562,629,461	57,315,341,792	99.6	6,617,648,617	11.5	6,484,966,442	11.3
	11,224,858,450	10,947,664,651	97.5	1,303,621,890	11.6	1,261,697,223	11.5
	46,337,771,011	46,367,677,141	100.1	5,314,026,727	11.5	5,223,269,219	11.3
	311,711,376	269,375,629	86.4	101,178,338	32.5	42,535,672	15.8
	57,874,340,837	57,584,717,421	99.5	6,718,826,955	11.6	6,527,502,114	11.3
	699,239,520	309,502,061	44.3	21,492,816	3.1	2,078,577	0.7
	58,573,580,357	57,894,219,482	98.8	6,740,319,771	11.5	6,529,580,691	11.3
	15,665,200	15,665,200	100.0	2,825,700	18.0	2,825,700	18.0
	212,643,800	210,484,774	99.0	4,963,700	2.3	4,613,213	2.2
	212,592,600	210,442,774	99.0	4,864,200	2.3	4,504,513	2.1
	51,200	42,000	82.0	99,500	194.3	108,700	258.8
	4,140,653	2,046,406	49.4	△ 154,918	△ 3.7	△ 658,476	△ 32.2
	216,784,453	212,531,180	98.0	4,808,782	2.2	3,954,737	1.9
	232,449,653	228,196,380	98.2	7,634,482	3.3	6,780,437	3.0
	3,956,124,388	3,956,124,388	100.0	5,188,915	0.1	5,188,915	0.1
	3,956,124,388	3,956,124,388	100.0	5,188,915	0.1	5,188,915	0.1
	0	0	−	0	−	0	−
	0	0	−	0	−	0	−
	3,956,124,388	3,956,124,388	100.0	5,188,915	0.1	5,188,915	0.1
	133,065,600	133,065,600	100.0	6,515,850	4.9	6,515,850	4.9
	133,065,600	133,065,600	100.0	4,021,800	3.0	4,021,800	3.0
	0	0	−	2,494,050	皆増	2,494,050	皆増
	0	0	−	0	−	0	−
	133,065,600	133,065,600	100.0	6,515,850	4.9	6,515,850	4.9
	4,321,639,641	4,317,386,368	99.9	19,339,247	0.4	18,485,202	0.4
	62,895,219,998	62,211,605,850	98.9	6,759,659,018	10.7	6,548,065,893	10.5

過去5年間における特別区税の項目別収入率の推移は、第18表のとおりである。

第 18 表　特別区税の項目別収入率の推移

区分			3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
特別区税		対予算現額	100.3%	100.4%	100.5%	100.5%	100.3%
		対調定額	98.7%	98.8%	98.8%	98.9%	98.7%
	特別区民税	対予算現額	100.3%	100.3%	100.4%	100.4%	100.3%
		対調定額	98.7%	98.7%	98.7%	98.8%	98.6%
	軽自動車税（環境性能割）	対予算現額	97.7%	94.0%	100.2%	99.9%	106.0%
		対調定額	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	軽自動車税（種 別 割）	対予算現額	100.8%	101.3%	101.1%	100.9%	100.9%
		対調定額	97.1%	97.8%	97.8%	98.0%	97.7%
	特別区たばこ税	対予算現額	99.9%	101.4%	102.3%	100.8%	100.2%
		対調定額	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	入湯税	対予算現額	103.3%	103.5%	104.8%	103.1%	102.6%
		対調定額	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(7) 特別区民税［収入済額　644 億 2,380 万 173 円］

予算現額に対する収入率は 100.3%である。収入済額は、前年度と比較し 65 億 2,958 万 691 円の増となり、増減率は 11.3%増（前年度 0.7%増）となった。

現年課税分のうち現年度分において、普通徴収は収入済額 122 億 936 万 1,874 円で、前年度と比較し 12 億 6,169 万 7,223 円の増（11.5%増）となり、特別徴収は収入済額 515 億 9,094 万 6,360 円で、前年度と比較し 52 億 2,326 万 9,219 円の増（11.3%増）となった。過年度分においては、収入済額 3 億 1,191 万 1,301 円で、前年度と比較し 4,253 万 5,672 円の増（15.8%増）となった。

滞納繰越分は、収入済額 3 億 1,158 万 638 円で、前年度と比較し 207 万 8,577 円の増（0.7%増）となった。

納税義務者数等の推移については、第 19 表のとおりである。納税義務者数（課税件数）は、普通徴収、特別徴収ともに前年度を上回った。1 人当たりの区民税額は 178,000 円で、前年度比で 13,000 円の増（7.9%増）となった。

なお、調定額に対する収入歩合は、98.6%（前年度 98.8%）となった。

不納欠損額は 7,737 万 3,358 円で、前年度と比較し 2,610 万 5,293 円の増（50.9%増）となった。

収入未済額は、8 億 4,685 万 5,001 円で、前年度と比較し 1 億 4,223 万 7,635 円の増（20.2%増）となった。

第 19 表　納税義務者数等の推移

区　分		3　年　度	4　年　度	5　年　度	6　年　度	7　年　度
納税義務者数		329,430 人	332,571 人	340,610 人	347,238 人	358,402 人
	普通徴収	82,907 人	83,689 人	85,643 人	86,820 人	89,381 人
	特別徴収	246,523 人	248,882 人	254,967 人	260,418 人	269,021 人
1人当たり区民税		156,500 円	163,000 円	167,100 円	165,000 円	178,000 円

（注）　納税義務者数は、普通徴収の課税件数に特別徴収の課税件数を加えたものである。
1人当たり区民税は、特別区民税の現年課税分のうち現年度分に係る収入済額を、上記納税義務者数で除したものである(100円未満切捨て)。

(ｲ)　諸　税［収入済額　43 億 3,587 万 1,570 円］

予算現額に対する収入率は 100.4%である。収入済額は、前年度と比較し 1,848 万 5,202 円の増となり、増減率は 0.4%増（前年度 1.7%減）となった。

諸税のうち、軽自動車税（環境性能割）は、軽自動車取得時に環境性能に応じて賦課されるものである。収入済額は 1,849 万 900 円で、前年度と比較し課税台数が 70 台増加したこと等により、282 万 5,700 円の増（18.0%増）となった。

軽自動車税（種別割）の収入済額は 2 億 1,648 万 5,917 円で、前年度と比較し課税台数が 1,185 台増加したこと等により、395 万 4,737 円の増（1.9%増）となった。

特別区たばこ税の収入済額は 39 億 6,131 万 3,303 円で、前年度と比較し売渡本数が 79 万 2,000 本増加したこと等により、518 万 8,915 円の増（0.1%増）となった。

入湯税の収入済額は 1 億 3,958 万 1,450 円で、前年度と比較し入湯者数が 4 万 3,439 人増加したこと等により、651 万 5,850 円の増（4.9%増）となった。

不納欠損額は、軽自動車税（種別割）につき 38 万 3,742 円で、前年度と比較し 1 万 8,804 円の増（5.2%増）となった。

収入未済額は、軽自動車税（種別割）につき 507 万 2,276 円で、前年度と比較し 100 万 1,041 円の増（24.6%増）となった。

イ　地方譲与税［収入済額　7 億 3,743 万 1,000 円］

地方譲与税は、本来地方に属すべき税源をいったん国税として徴収し、これを国が地方団体に譲与するものである。地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税及び森林環境譲与税で構成されている。

予算現額に対する収入率は 101.4%である。収入済額は、前年度と比較し 1,054 万 7,000 円の増となり、増減率は 1.5%増で、構成比は 0.3%となっている。

ウ　特別区交付金［収入済額　784 億 2,026 万 4,000 円］

特別区交付金は、都区財政調整制度に基づく交付金であり、特別区税と並び本区歳入の根幹をなしているものである。

予算現額に対する収入率は 102.3%である。収入済額は、前年度と比較し 40 億 7,210 万円の増となり、増減率は 5.5%増で、構成比は 27.8%となっている。

エ　利子割交付金［収入済額　5 億 9,059 万 8,000 円］

利子割交付金は、預貯金の利子に課税される都道府県民税利子割のうち、個人に係る利子割額に相当する額の一定割合が区市町村に交付されるものである。

予算現額に対する収入率は 101.7％である。収入済額は、前年度と比較し 2 億 7,606 万 9,000 円の増となり、増減率は 87.8％増で、構成比は 0.2％となっている。

オ　配当割交付金［収入済額　17 億 8,471 万 9,000 円］

配当割交付金は、上場株式等配当などに課税される都道府県民税配当割の一定割合が区市町村に交付されるものである。

予算現額に対する収入率は 132.0％である。収入済額は、前年度と比較し 1 億 5,742 万 4,000 円の増となり、増減率は 9.7％増で、構成比は 0.6％となっている。

カ　株式等譲渡所得割交付金［収入済額　26 億 9,345 万 8,000 円］

株式等譲渡所得割交付金は、株式等譲渡益に課税される都道府県民税株式等譲渡所得割の一定割合が区市町村に交付されるものである。

予算現額に対する収入率は 131.8％である。収入済額は、前年度と比較し 3 億 840 万 3,000 円の増となり、増減率は 12.9％増で、構成比は 1.0％となっている。

キ　地方消費税交付金［収入済額　160 億 5,238 万 2,000 円］

地方消費税交付金は、地方消費税について、都道府県間の清算等を行った後の金額の 2 分の 1 に相当する額が、人口及び従業者数で按分されて、区市町村に交付されるものである。

予算現額に対する収入率は 101.8％である。収入済額は、前年度と比較し 11 億 8,785 万 8,000 円の増となり、増減率は 8.0％増で、構成比は 5.7％となっている。

ク　ゴルフ場利用税交付金［収入済額　2,570 万 6,310 円］

ゴルフ場利用税交付金は、ゴルフ場所在の区市町村に対し、当該ゴルフ場に係るゴルフ場利用税の一定割合が交付されるものである。

予算現額に対する収入率は 98.9％である。収入済額は、前年度と比較し 25 万 4,940 円の増となり、増減率は 1.0％増で、構成比は 0.0％となっている。

ケ　環境性能割交付金［収入済額　2 億 971 万 783 円］

環境性能割交付金は、都に納付された自動車税環境性能割の 40.85％相当額が、区道の延長及び面積で按分されて交付されるものである。

予算現額に対する収入率は 101.8％である。収入済額は、前年度と比較し 5,842 万 5,654 円の減となり、増減率は 21.8％減で、構成比は 0.1％となっている。

コ　地方特例交付金［収入済額　3 億 5,526 万 2,000 円］

地方特例交付金は、国の制度変更等により地方負担の増加や地方の減収が生じた場合に、これを補てんするため特例的に交付されるものである。

予算現額に対する収入率は 100.0％である。収入済額は、前年度と比較し 25 億 3,719 万 3,000 円の減となり、増減率は 87.7％減で、構成比は 0.1％となっている。

サ　交通安全対策特別交付金［収入済額　4,256 万 3,000 円］

交通安全対策特別交付金は、道路交通安全施設の設置や管理に充てるため、道路交通法の規定により納付される交通反則金の一部が交付されるものである。

予算現額に対する収入率は 94.6%である。収入済額は、前年度と比較し 107 万 7,000 円の減となり、増減率は 2.5%減で、構成比は 0.0%となっている。

シ　分担金及び負担金［収入済額　21 億 9,286 万 6,541 円］

分担金及び負担金は、区が行う事業により利益を受ける者から、その受益を限度として徴収するものである（例：保育所の保育料）。

予算現額に対する収入率は 99.6%である。収入済額は、前年度と比較し 9 億 3,789 万 2,175 円の減となり、増減率は 30.0%減で、構成比は 0.8%となっている。

これは、区内私立保育所利用者負担金で 7 億 1,472 万 9 千円の減、区立保育所利用者負担金で 2 億 1,809 万 2 千円の減があったこと等によるものである。

不納欠損額は、保育所利用者負担金で 186 万 6,150 円（前年度比 188 万 4,160 円減）、老人ホーム入所者負担金で 50 万 4,000 円（同 55 万 9,596 円減）、きっずクラブ利用者負担金で 39 万 5,500 円（同 1 万 9,500 円増）、母子生活支援施設入所者負担金で 18 万 8,050 円（皆増）、学童クラブ利用者負担金で 1 万 6,000 円（前年度比 3 万 2,000 円減）となっている。

収入未済額は、保育所利用者負担金で 1,475 万 7,510 円（前年度比 570 万 5,550 円減）、きっずクラブ利用者負担金で 358 万 7,000 円（同 62 万 5,000 円増）、老人ホーム入所者負担金で 337 万 7,258 円（同 204 万 4,836 円増）、入院助産費負担金で 42 万 2,800 円（同 14 万 6,400 円増）、保育所受託運営費負担金 21 万 2,392 円（皆増）となっている。

ス　使用料及び手数料［収入済額　31 億 5,339 万 1,167 円］

使用料及び手数料は、区の施設の利用や特定の事務により利益を受ける者から、その受益に対する実費負担的なものとして徴収するものである（例：施設使用料、各種証明事務手数料）。

予算現額に対する収入率は 99.5%である。収入済額は、前年度と比較し 1 億 3,008 万 9,102 円の増となり、増減率は 4.3%増で、構成比は 1.1%となっている。

(ｱ)　使用料［収入済額　23 億 4,281 万 6,655 円］

予算現額に対する収入率は 100.3%である。収入済額は、前年度と比較し 1 億 3,371 万 6,242 円の増となり、増減率は 6.1%増である。

これは、道路占用料で 8,096 万 3 千円の増、公園施設等使用料で 2,376 万 7 千円の増、公園占用料で 1,380 万 7 千円の増があったこと等によるものである。

不納欠損額は、0 円（皆減）となっている。

収入未済額は、区営住宅使用料並びに駐車場使用料で 1,035 万 2,295 円（前年度比 53 万 5,380 円減）、幼稚園保育料で 21 万 8,500 円（同 6 万 1,000 円増）、高齢者住宅使用料で 11 万 5,220 円（前年度同額）、道路占用料で 3 万 3,808 円（同 5 万 700 円減）となっている。

(ｲ)　手数料［収入済額　8 億 1,057 万 4,512 円］

予算現額に対する収入率は 97.5％である。収入済額は、前年度と比較し 362 万 7,140 円の減となり、増減率は 0.4％減である。

これは、廃棄物処理手数料で 581 万 3 千円の減があったこと等によるものである。

セ　国庫支出金［収入済額　459 億 3,910 万 1,964 円］

予算現額に対する収入率は 97.6％である。収入済額は、前年度と比較し 40 億 2,348 万 1,439 円の増となり、増減率は 9.6％増で、構成比は 16.3％となっている。

(ｱ)　国庫負担金［収入済額　399 億 5,885 万 252 円］

予算現額に対する収入率は 96.5％である。収入済額は、前年度と比較し 38 億 2,243 万 9,939 円の増となり、増減率は 10.6％増である。

これは、生活保護費負担金で 2 億 5,989 万 5 千円の減があったものの、児童手当負担金で 32 億 864 万 5 千円の増、子どものための教育・保育給付交付金で 4 億 2,575 万円の増、介護給付等給付事業費負担金で 3 億 7,438 万 6 千円の増があったこと等によるものである。

(ｲ)　国庫補助金［収入済額　59 億 5,911 万 3,346 円］

予算現額に対する収入率は 105.7％である。収入済額は、前年度と比較し 1 億 9,649 万 7,633 円の増となり、増減率は 3.4％増である。

これは、地域住宅計画に基づく事業費交付金で 13 億 7,743 万 8 千円の減があったものの、物価高対応子育て応援手当事業費補助金で 16 億 6,372 万円の増があったこと等によるものである。

(ｳ)　国庫委託金［収入済額　2,113 万 8,366 円］

予算現額に対する収入率は 101.0％である。収入済額は、前年度と比較し 454 万 3,867 円の増となり、増減率は 27.4％増である。

これは、中国残留邦人援護事務費委託金で 219 万 1 千円の減があったものの、中長期在留者住居地届出等事務費委託金で 656 万 2 千円の増があったこと等によるものである。

ソ　都支出金［収入済額　312 億 842 万 4,267 円］

予算現額に対する収入率は 92.1％である。収入済額は、前年度と比較し 9 億 3,080 万 6,368 円の減となり、増減率は 2.9％減で、構成比は 11.0％となっている。

(ｱ)　都負担金［収入済額　108 億 565 万 6,065 円］

予算現額に対する収入率は 94.5％である。収入済額は、前年度と比較し 4 億 7,210 万 1,296 円の増となり、増減率は 4.6％増である。

これは、国民健康保険基盤安定費負担金で 9,079 万 7 千円の減があったものの、子どものための教育・保育給付交付金で 2 億 2,867 万円の増、介護給付等給付事業費負担金で 1 億 8,719 万 3 千円の増、障害児通所給付費等負担金で 7,648 万 6 千円の増、児童手当負担金で 7,594 万 7 千円の増があったこと等によるものである。

(ｲ)　都補助金［収入済額　176 億 1,337 万 9,771 円］

予算現額に対する収入率は 88.8%である。収入済額は、前年度と比較し 5 億 3,064 万 8,288 円の減となり、増減率は 2.9%減である。

これは、保育所等利用世帯負担軽減事業補助金で 15 億 7,400 万 5 千円の増、待機児童解消に向けた緊急対策補助金で 3 億 4,931 万 9 千円の増、出産・子育て応援事業補助金で 2 億 7,300 万 8 千円の増があったものの、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金で 27 億 3,487 万 4 千円の減があったこと等によるものである。

(ｳ)　都委託金［収入済額　27 億 8,938 万 8,431 円］

予算現額に対する収入率は 105.6%である。収入済額は、前年度と比較し 8 億 7,225 万 9,376 円の減となり、増減率は 23.8%減である。

これは、国勢調査費委託金で 3 億 2,526 万 8 千円の皆増、参議院議員選挙執行費委託金で 1 億 9,821 万 9 千円の皆増があったものの、特別区事務処理特例交付金で 12 億 8,834 万 4 千円の減があったこと等によるものである。

タ　財産収入［収入済額　12 億 2,188 万 4,391 円］

予算現額に対する収入率は 100.0%である。収入済額は、前年度と比較し 3 億 995 万 5,015 円の増となり、増減率は 34.0%増で、構成比は 0.4%となっている。

これは、学校施設改築等基金運用収入で 1 億 4,025 万 6 千円の増、財政調整基金運用収入で 4,534 万 8 千円の増、公共施設建設基金運用収入で 4,451 万 2 千円の増、地下鉄８号線建設等基金運用収入で 3,230 万 7 千円の増があったこと等によるものである。

チ　寄付金［収入済額　9 億 1,649 万 2,786 円］

予算現額に対する収入率は 144.7%である。収入済額は、前年度と比較し 3 億 5,623 万 6,167 円の増となり、増減率は 63.6%増で、構成比は 0.3%となっている。

これは、一般寄付金で 1 億 5,425 万 6 千円の増、水彩・環境都市づくり事業で 1 億 733 万 2 千円の増、こどもたちが希望を持てるまちづくり事業で 8,461 万 9 千円の増があったこと等によるものである。

ツ　繰入金［収入済額　147 億 5,129 万 631 円］

繰入金は、区が設定している会計間において、他会計から当該会計に現金を収納する場合に用いられる歳入科目である。また、基金は、定額運用基金を除いて、直接基金から支出することができないため、一般会計又は特別会計を通じて支出しなければならない。この基金の取崩しによる収入は、繰入金として受け入れられる。

予算現額に対する収入率は 61.2%である。収入済額は、前年度と比較し 49 億 6,742 万 8,024 円の増となり、増減率は 50.8%増で、構成比は 5.2%となっている。

これは、財政調整基金繰入金で 10 億円の減、学校施設改築等基金繰入金で 4 億 8,300 万円の減があったものの、公共施設建設基金繰入金で 65 億円の増があったこと等によるものである。

テ　繰越金［収入済額　77 億 3,169 万 2,375 円］

繰越金は、一会計年度から次の会計年度へ持ち越した金額である。

予算現額に対する収入率は 100.0％である。収入済額は、前年度と比較し 14 億 357 万 6,040 円の減となり、増減率は 15.4％減で、構成比は 2.7％となっている。

ト　諸収入［収入済額　32 億 4,693 万 6,863 円］

諸収入は、他の歳入科目のいずれにも属さない収入をまとめて計上するための歳入科目である。

予算現額に対する収入率は 104.6％である。収入済額は、前年度と比較し 1 億 1,242 万 2,613 円の増となり、増減率は 3.6％増で、構成比は 1.2％となっている。

これは、雑入で 1 億 6,199 万 6 千円の減があったものの、土地開発公社用地取得資金貸付金返還収入で 1 億 1,120 万 8 千円の増、予防接種受託収入で 1 億 189 万 7 千円の増、掘さく道路復旧費収入で 6,466 万 2 千円の増があったこと等によるものである。

目別・節別の不納欠損額及び収入未済額は、第 20 表のとおりである。

第 20 表　目別・節別不納欠損額及び収入未済額

（単位：円）

目名（節名）	不納欠損額			収入未済額		
	7年度	6年度	差引増(△)減	7年度	6年度	差引増(△)減
生業資金貸付金元利収入	0	0	0	6,467,988	7,553,888	△ 1,085,900
女性福祉資金貸付金元利収入	356,300	987,000	△ 630,700	14,680,827	16,421,986	△ 1,741,159
奨学資金貸付金返還収入	0	0	0	43,360,600	46,474,800	△ 3,114,200
介護福祉士等奨学資金貸付金返還収入	0	0	0	1,612,600	1,639,600	△ 27,000
災害援護資金元利収入	0	0	0	1,658,309	0	1,658,309
災害援護貸付金元利収入	0	0	0	654,276	0	654,276
衛生費受託収入	0	0	0	109,251	53,622,528	△ 53,513,277
弁償金（生活保護費弁償金）	177,406,494	153,922,932	23,483,562	1,664,394,255	1,649,610,681	14,783,574
弁償金(中国残留邦人生活支援給付費弁償金)	0	0	0	10,381,258	10,343,858	37,400
納付金（厚生年金保険料納付金）	0	0	0	77,775	41,188	36,587
納付金（雇用保険料納付金）	0	0	0	73	0	73
自立支援等給付収入（高額障害福祉サービス費等給付事業自立支援給付費収入）	0	0	0	136,850	136,850	0
自立支援等給付収入（介護給付等給付事業利用者負担金受入金）	0	0	0	175,177	175,177	0
雑入（光熱水費分担収入）	0	0	0	0	159,360	△ 159,360
雑入（電力売却収入）	0	0	0	34	0	34
雑入（広告料収入）	0	0	0	132,000	3,432,000	△ 3,300,000
雑入（区営住宅共益費）	0	0	0	91,420	100,830	△ 9,410
雑入（高齢者住宅共益費）	0	0	0	9,090	9,090	0
雑入（雑入）	42,612,300	47,315,739	△ 4,703,439	270,341,337	259,458,264	10,883,073
合計	220,375,094	202,225,671	18,149,423	2,014,283,120	2,049,180,100	△ 34,896,980

ナ　特別区債［収入済額　25 億 5,100 万円］

予算現額に対する収入率は 46.1％である。収入済額は、前年度と比較し 36 億 9,300 万円の減となり、増減率は 59.1％減で、構成比は 0.9％となっている。

これは、塩浜福祉プラザ改修事業債で 13 億 7,200 万円の減、北砂ホーム改修事業債で 12 億 4,100 万円の減、大島五丁目住宅改築事業債で 8 億 100 万円の減があったこと等によるものである。

(2) 歳出の状況

歳出決算は、次のとおりである。

予 算 現 額　2,949 億 4,911 万 6,000 円　　執行率（対予算現額）92.8%
支 出 済 額　2,735 億 7,766 万　68 円
翌年度繰越額　33 億 9,702 万 3,232 円
不　用　額　179 億 7,443 万 2,700 円

執行率は 92.8%（前年度 93.3%）である。支出済額は、前年度と比較し 116 億 2,286 万 9,578 円の増であり、増減率は 4.4%増となった。

不用額の主なものは、第 21 表のとおりである。

第 21 表　不用額の主なもの

款	主な内容	不用額	款	主な内容	不用額
		千円			千円
総務費	スポーツ施設管理運営事業	313,031	衛生費	予防接種事業	375,626
	電子計算事務	216,180		妊娠出産支援事業	157,298
	地域文化施設管理運営事業	146,480	産業経済費	中小企業融資事業	167,960
民生費	生活保護事業	1,473,326	土木費	公園維持管理事業	268,014
	私立保育所扶助事業	1,151,039		河川維持管理事業	145,676
	私立保育所補助事業	956,117	教育費	小学校教育情報化推進事業	498,883
	保育従事者確保支援事業	776,129		中学校教育情報化推進事業	401,529
	物価高騰重点支援給付金事業	428,194		小学校管理運営事業	329,515
	介護給付等給付事業	315,356	諸支出金	介護保険会計繰出金	464,926

ア　目的別執行状況

歳出決算を目的別に分類し、その対前年度増減状況を示すと、第 22 表及び第 23 表のとおりである。目的別分類とは、経費をその行政目的に応じて、議会費、総務費、民生費のように区分する分け方である。

第 22 表　款別歳出決算

区　分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
	円	円	円	円	%
議会費	815,565,000	782,588,749	0	32,976,251	96.0
総務費	50,506,448,000	48,328,673,362	104,626,000	2,073,148,638	95.7
民生費	127,359,027,000	116,641,688,230	1,919,540,432	8,797,798,338	91.6
衛生費	21,229,983,000	19,574,253,778	0	1,655,729,222	92.2
産業経済費	5,125,631,000	3,438,410,647	1,277,793,000	409,427,353	67.1
土木費	18,466,714,000	16,854,569,500	95,063,800	1,517,080,700	91.3
教育費	52,485,077,000	49,767,978,859	0	2,717,098,141	94.8
公債費	2,099,803,000	2,054,092,911	0	45,710,089	97.8
諸支出金	16,600,868,000	16,135,404,032	0	465,463,968	97.2
予備費	260,000,000	0	0	260,000,000	0.0
歳出合計	294,949,116,000	273,577,660,068	3,397,023,232	17,974,432,700	92.8

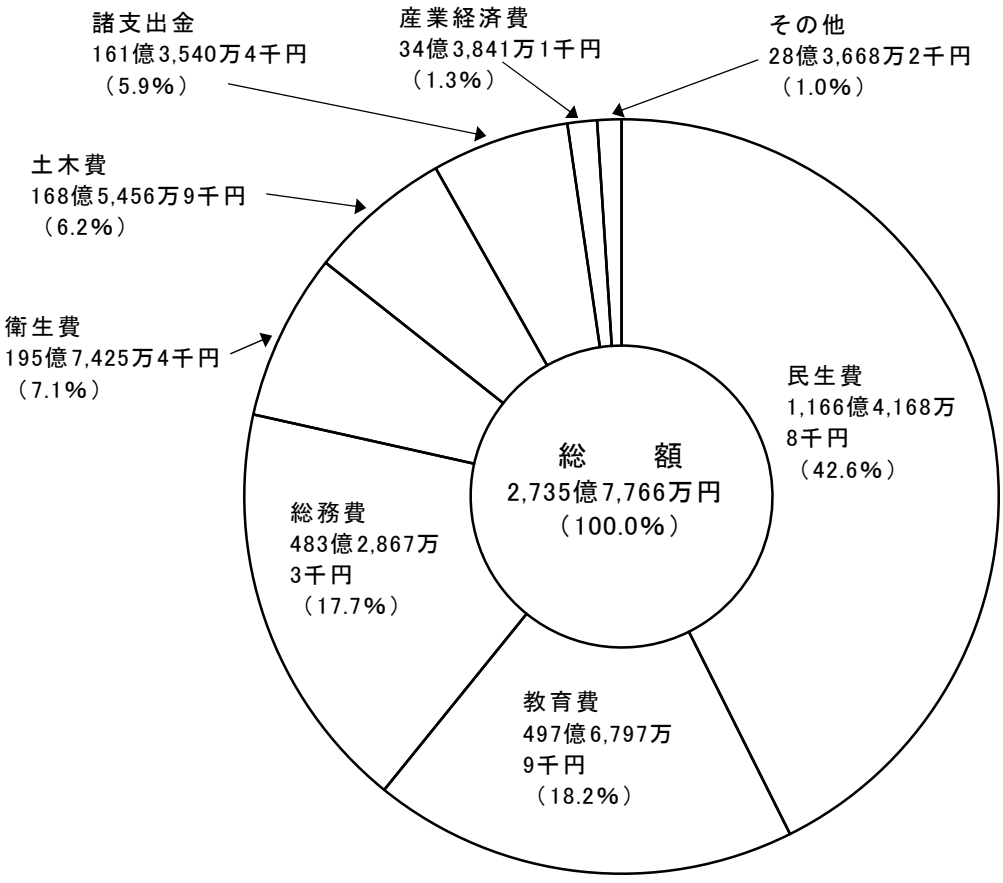
第 23 表　歳出決算内訳及び対前年度比較

区　分	7 年 度			6 年 度			比較増(△)減
	決算額 A	構成比	対前年度増減率	決算額 B	構成比	対前年度増減率	差 引 C=A−B
	円	%	%	円	%	%	円
議　会　費	782,588,749	0.3	△ 3.8	813,188,075	0.3	△2.1	△ 30,599,326
総　務　費	48,328,673,362	17.7	39.3	34,681,503,170	13.2	20.1	13,647,170,192
民　生　費	116,641,688,230	42.6	2.4	113,962,568,916	43.5	6.7	2,679,119,314
衛　生　費	19,574,253,778	7.1	2.9	19,025,207,839	7.3	△ 5.3	549,045,939
産業経済費	3,438,410,647	1.3	14.5	3,003,232,210	1.1	18.6	435,178,437
土　木　費	16,854,569,500	6.2	△ 15.3	19,891,959,236	7.6	51.9	△ 3,037,389,736
教　育　費	49,767,978,859	18.2	△ 2.0	50,803,502,164	19.4	25.5	△ 1,035,523,305
公　債　費	2,054,092,911	0.7	3.0	1,994,151,566	0.8	△ 7.7	59,941,345
諸支出金	16,135,404,032	5.9	△ 9.2	17,779,477,314	6.8	△ 4.2	△ 1,644,073,282
予　備　費	0	0	−	0	0	−	0
歳　出　合　計	273,577,660,068	100.0	4.4	261,954,790,490	100.0	12.2	11,622,869,578

第 22 表及び第 23 表の区分の欄に掲げた、議会費、総務費、民生費、衛生費、産業経済費、土木費、教育費、公債費、諸支出金及び予備費が、本区の設定する款である。

歳出決算総額に対する款別構成比は、第 9 図のとおりである。

第 9 図　歳出決算款別構成



以下、歳出について款別に述べる。

(ｱ)　議会費［支出済額　7億8,258万8,749円］

予算現額に対する不用額は3,297万6,251円で、執行率は96.0%である。支出済額は、前年度と比較し3,059万9,326円の減であり、増減率は3.8%減となった。

これは主に、議会運営事業で1,960万5千円の減、区議会事務局運営事業で1,078万9千円の減があったことによるものである。

事業別に見た議会費の主な内訳は、議会運営事業5億3,025万5千円、給与費及び旅費1億3,665万7千円、政務活動事業8,408万5千円である。

(ｲ)　総務費［支出済額　483億2,867万3,362円］

予算現額に対する不用額は20億7,314万8,638円で、執行率は95.7%である。支出済額は、前年度と比較し136億4,717万192円の増であり、増減率は39.3%増となった。

これは主に、江東公会堂改修事業で49億9,193万9千円の増、新庁舎建設等基金積立金で35億円の皆増、スポーツ会館改修事業で19億480万5千円の増、公共施設建設基金積立金で18億2,791万1千円の増があったことによるものである。

事業別に見た総務費の主な内訳は、公共施設建設基金積立金72億743万4千円、給与費及び旅費69億3,595万2千円、江東公会堂改修事業51億3,474万2千円、財政調整基金積立金40億8,053万8千円である。

(ｳ)　民生費［支出済額　1,166億4,168万8,230円］

予算現額に対する不用額は87億9,779万8,338円で、執行率は91.6%である。支出済額は、前年度と比較し26億7,911万9,314円の増であり、増減率は2.4%増となった。

これは主に、物価高騰重点支援給付金事業で45億3,316万4千円の減、塩浜福祉プラザ改修事業で19億3,356万2千円の皆減があったものの、児童手当支給事業で33億5,441万円の増、物価高対応子育て応援手当支給事業で16億1,263万8千円の皆増、暮らし応援給付事業で11億306万9千円の皆増、塩浜ホーム改修事業で9億3,026万6千円の増、私立保育所扶助事業で8億9,163万3千円の増、介護給付等給付事業で8億4,891万7千円の増があったことによるものである。

事業別に見た民生費の主な内訳は、生活保護事業177億4,142万5千円、私立保育所扶助事業168億3,469万4千円、介護給付等給付事業130億1,462万円、児童手当支給事業107億5,266万1千円である。

(ｴ)　衛生費［支出済額　195億7,425万3,778円］

予算現額に対する不用額は16億5,572万9,222円で、執行率は92.2%である。支出済額は、前年度と比較し5億4,904万5,939円の増であり、増減率は2.9%増となった。

これは主に、予防接種事業で3億3,509万8千円の減があったものの、清掃一部事務組合分担金で2億4,466万1千円の増、資源回収事業で2億1,810万5千円の増、深川南部保健相談所改修事業で1億7,957万4千円の増、出産・子育て応援交付金事業で1億7,550万6千円の増があったことによるものである。

事業別に見た衛生費の主な内訳は、給与費及び旅費32億7,521万7千円、清掃一部事務組合分担金27億6,323万円、資源回収事業22億7,838万円、予防接種事業21億8,886万9千円である。

(オ)　産業経済費［支出済額　34億3,841万647円］

予算現額に対する不用額は4億942万7,353円で、執行率は67.1%である。支出済額は、前年度と比較し4億3,517万8,437円の増であり、増減率は14.5%増となった。

これは主に、エネルギー価格高騰対策支援事業で2億492万3千円の増、商店街連合会支援事業で9,158万2千円の増があったことによるものである。

事業別に見た産業経済費の主な内訳は、エネルギー価格高騰対策支援事業7億5,743万円、商店街連合会支援事業6億6,515万5千円、中小企業融資事業6億463万4千円である。

(カ)　土木費［支出済額　168億5,456万9,500円］

予算現額に対する不用額は15億1,708万700円で、執行率は91.3%である。支出済額は、前年度と比較し30億3,738万9,736円の減であり、増減率は15.3%減となった。

これは主に、砂潮橋改修事業で8億7,295万7千円の増、若洲公園整備事業で7億6,344万7千円の増、大島橋改修事業で7億3,160万6千円の増があったものの、大島五丁目住宅改築事業で23億2,577万6千円の皆減、猿江一丁目アパート改築事業で19億6,035万3千円の皆減、河川維持管理事業で11億240万1千円の減があったことによるものである。

事業別に見た土木費の主な内訳は、給与費及び旅費20億5,413万6千円、公園維持管理事業17億518万5千円、砂潮橋改修事業11億4,617万2千円、道路改修事業10億2,707万7千円である。

(キ)　教育費［支出済額　497億6,797万8,859円］

予算現額に対する不用額は27億1,709万8,141円で、執行率は94.8%である。支出済額は、前年度と比較し10億3,552万3,305円の減であり、増減率は2.0%減となった。

これは主に、中学校大規模改修事業で8億6,894万7千円の増、小学校大規模改修事業で7億2,978万9千円の増があったものの、学校施設改築等基金積立金で27億5,879万5千円の減、第二大島小学校改築事業で25億4,270万5千円の皆減があったことによるものである。

事業別に見た教育費の主な内訳は、学校施設改築等基金積立金151億5,462万6千円、小学校給食運営事業34億322万円、放課後こどもプラン事業33億3,456万4千円、小学校大規模改修事業28億6,337万円である。

(ｹ)　公債費［支出済額　20 億 5,409 万 2,911 円］

予算現額に対する不用額は 4,571 万 89 円で、執行率は 97.8％である。支出済額は、前年度と比較し 5,994 万 1,345 円の増であり、増減率は 3.0％増となった。

これは主に、特別区債利子で 8,844 万円の増があったことによるものである。

事業別に見た公債費の内訳は、特別区債元金 17 億 4,711 万 4 千円、特別区債利子 3 億 697 万 9 千円である。

(ﾌ)　諸支出金［支出済額　161 億 3,540 万 4,032 円］

予算現額に対する不用額は 4 億 6,546 万 3,968 円で、執行率は 97.2％である。支出済額は、前年度と比較し 16 億 4,407 万 3,282 円の減であり、増減率は 9.2％減となった。

これは主に、国庫支出金返納金で 10 億 5,128 万 7 千円の減、国民健康保険会計繰出金で 6 億 5,983 万 9 千円の減があったことによるものである。

事業別に見た諸支出金の主な内訳は、介護保険会計繰出金 61 億 9,953 万 3 千円、後期高齢者医療会計繰出金 55 億 7,776 万 2 千円、国民健康保険会計繰出金 15 億 4,095 万 5 千円である。

イ　予備費の充当

地方自治法第 217 条第 1 項本文は、「予算外の支出又は予算超過の支出に充てるため、歳入歳出予算に予備費を計上しなければならない。」と定める。

予算がない場合、予算金額が不足する場合には、議会を招集して予算の補正をするのが通常であるが、金額が僅少である場合、緊急を要する場合等に対処する手段として予備費の制度が認められている。一般会計には必ず予備費を設けなければならない。

予備費を使用するときは、予備費から直接支出するのではなく、支出を必要とする経費の費目に移し替えて（この移替えを「予備費の充当」という。）、その費目から支出する。

令和 7 年度において、衆議院議員選挙に要する経費として、（第 2 款）総務費（第 4 項）選挙費（第 4 目）選挙執行費に 1 億 4,000 万円が充当された。

ウ　予算の流用

予算科目である款項目節のうち、議決科目である款項については、款間、項間にわたる流用は認められていない。しかし、例外的に、項間にわたる流用は、予算で定めた項の経費の金額についてのみ認められる(地方自治法第 220 条第 2 項)。

一方、執行科目である目節に定められた金額については、直接議決の対象ではなく、目節の金額の相互流用は、区長の責任と権限で行うことが許容される。予算事務規則第 21 条第 1 項、第 3 項及び第 6 項は、目、事業又は節（細節及び細々節を含む。）についても原則、流用禁止としながら、予算の執行上やむを得ない理由がある場合に限り、相互に流用することができると定める。

令和 7 年度において、一般会計における予算の流用は目間で 12 件である。

エ　予算の繰越し

毎会計年度の歳出予算の金額は、当該会計年度内において使用しなければ、翌年度に繰り越して使用することができないのが原則である。しかし、以下の例外がある。

(ｱ)　繰越明許費

歳出予算の経費のうち、その性質上又は予算成立後の事由により年度内に支出を終わらない見込みのものについて、翌年度に限り繰り越して使用することができる（地方自治法第 213 条)。この経費を繰越明許費という。

令和 7 年度歳出予算のうち、令和 8 年度に繰り越されたものは、次のとおりである。

款	項	事　業　名	繰越明許費 繰　越　額	繰　越　理　由
総　務　費	総務管理費	電子計算事務	円 43,800,000	氏名の振り仮名法制化にかかるシステム改修費用について、国庫補助金の交付要件を満たすため。
	地域振興費	スポーツ施設管理運営事業	60,826,000	荒川・砂町庭球場の工事について、年度中に終えることが不可能なため。
民　生　費	社会福祉費	暮らし応援給付事業	1,912,454,432	給付金の申請期間及び支給決定が8年度にまたがり、年度中に執行が完了しないため。
	児童福祉費	物価高対応子育て応援手当支給事業	7,086,000	手当の申請期間等が8年度にまたがるため。また、システムの改修等が年度中に終了しないため。
産業経済費	商工費	エネルギー価格高騰対策支援事業	750,000,000	年度中の事業実施が困難であり、補助金の申請期間及び支給決定が8年度となるため。
		商店街連合会支援事業	527,793,000	年度中の事業実施が困難であり、商店街連合会への補助金の交付決定が8年度となるため。
土　木　費	公園費	公園改修事業	95,063,800	中の島公園の工事について、年度中に終えることが不可能なため。
合　　計			3,397,023,232	

(ｲ)　事故繰越し

年度内に支出負担行為を行い、避けがたい事故のために年度内に支出が終わらなかったものを翌年度に繰り越して使用することができる（地方自治法第 220 条第 3 項ただし書)。これを事故繰越しという。

令和 7 年度歳出予算のうち、令和 8 年度に繰り越されたものはなかった。

オ　計画事業の執行状況

基本構想とは、まちづくりの目標であり、すべての計画の基本となるべきものである。本区では、平成 21 年 3 月に新たな基本構想が策定された。基本構想において、本区の将来像は「みんなでつくる伝統、未来　水彩都市・江東」とされ、さらにその将来像は具体的に、目指すべき江東区の姿（施策の大綱）として、

1　水と緑豊かな地球環境にやさしいまち

2　未来を担うこどもを育むまち

3　区民の力で築く元気に輝くまち
4　ともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち
5　住みよさを実感できる世界に誇れるまち
と定められた。

平成 22 年 3 月には、基本構想の実現について具体的方向性を明確にするため、平成 22 年度から令和元年度までの 10 か年の長期計画が策定され、更に、令和 2 年 3 月には、基本構想の後半の 10 年にあたる令和 2 年度から令和 11 年度までの長期計画が策定された。長期計画においては、上記 5 つの施策の大綱に従い、分野別の計画体系（12 の基本施策・27 の施策）が示されるとともに、重点的に取り組むべき施策が示された。

長期計画における施策の実現・達成のための具体的な仕組みとは、上記の施策ごとに、特に重点的に取り組むべき事業として「主要事業」を定め、その主要事業に係る活動量その他の数値目標の取得を通じて、進行管理を行うというものである。主要事業については、毎年度実施する行政評価の結果に基づき、事業量・事業費の見直しや、新たな事業の選定が行われることになっている。

主要事業は、この意見書で述べている事業のうちの一部のものであり、まちづくりに係る計画体系に位置付けられ、その進行管理を図る必要があるため、この観点から捉え直されているのである。

令和 7 年度を対象とする主要事業は 76 事業であり、計画及びその実績は、第 24 表のとおりである。

計画額 390 億 3,525 万 6 千円、実績額 328 億 1,880 万 1 千円で、執行率は 84.1%（前年度 86.0%）であり、契約差金による執行残等はあるが、概ね計画通りの実績額となった。

なお、ここでいう「執行残」とは、計画額と実績額との差額を指している。

以下、施策の大綱別に執行状況を述べる。

(ｱ)　施策の大綱 1　水と緑豊かな地球環境にやさしいまち

計画額 51 億 4,401 万 9 千円に対する実績額は、43 億 6,659 万 6 千円で、執行率は 84.9%である。

「資源回収事業」、「CITY IN THE GREEN 民間緑化推進事業」、「ゼロカーボン行動変容推進事業」、「区立公園の改修」においては、ほぼ計画どおりの実績額となった。

(ｲ)　施策の大綱 2　未来を担うこどもを育むまち

計画額 92 億 6,307 万 1 千円に対する実績額は、83 億 81 万 2 千円で、執行率は 89.6%である。

「青少年相談事業」、「ICT 教育推進事業」、「校舎等の改修」、「児童館の改修」、「保育園の改修」においては、ほぼ計画どおりの実績額となった。

(ｳ)　施策の大綱 3　区民の力で築く元気に輝くまち

計画額 94 億 1,361 万 7 千円に対する実績額は、85 億 3,690 万 7 千円で、執行率は 90.7%である。

「区民体育館の改修」において、一般会計補正予算（第 1 号）にて令和 7 年 3 月から適用するインフレスライド条項対応に伴う費用等を増額したことにより計画額を上回った。また、「人権・多様性啓発事業」、「江東お店の魅力発掘発信事業」、「屋外区民運動施設の改修」、「江東ブランド推進事業」、「区民スポーツ普及振興事業」、「江東公会堂の改修」においては、ほぼ計画どおりの実績額となった。

(ｴ) 施策の大綱 4　ともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち

計画額 50 億 3,114 万 8 千円に対する実績額は、42 億 4,730 万 9 千円で、執行率は 84.4%である。

「新生児・産婦支援事業」において、一般会計補正予算（第 5 号）にてギフトカードが当初見込みを上回ったため事業間流用を行ったことによる増額、「保健相談所の改修」において、一般会計補正予算（第 1 号）にて設計変更による追加建築工事に伴う費用を増額、また「障害者福祉施設の改修」においても、一般会計補正予算（第 1 号）にてインフレスライド対応等に伴う費用を増額したことにより計画額を上回った。

「都市型軽費老人ホームの整備」、「高齢者在宅サービスセンターの改修」、「特別養護老人ホームの改修」、「障害者（児）施設福祉サービス第三者評価事業」、「高齢者地域見守り支援事業」においては、ほぼ計画どおりの実績額となった一方で、「認知症高齢者グループホームの整備」においては、入札不調に伴う補助実績の減等により執行率が 0.1%となった。

(ｵ) 施策の大綱 5　住みよさを実感できる世界に誇れるまち

計画額 97 億 5,084 万 1 千円に対する実績額は、68 億 4,518 万 7 千円で、執行率は 70.2%である。

「まちづくり方針策定事業」、「区営住宅の整備」、「細街路の拡幅整備」、「ユニバーサルデザイン推進事業」、「橋梁の改修」、「区営住宅の改修」、「備蓄物資整備事業」、「防災倉庫の整備」においては、ほぼ計画どおりの実績額となった。

一方、「防災倉庫の改修」においては、改修が想定より軽微なものにとどまったこと等による実績減により執行率が 21.1%、「民間建築物耐震促進事業」においては、申請件数が計画を下回ったことによる助成金の減等により執行率が 24.0%、「不燃化特区の基盤整備」においては、公社委託費の実績減等により、執行率が 35.4%となった。

(ｶ) 計画の実現に向けて

計画額 4 億 3,256 万円に対する実績額は、5 億 2,199 万 1 千円で、執行率は 120.6%である。

「シティプロモーション推進事業」において、一般会計補正予算（第 5 号）にてふるさと納税寄附金増による手数料・一般委託費を増額したことにより計画額を上回った。

また「DX 推進事業」においては、ほぼ計画どおりの実績額となった。

第 24 表　主要事業実績

施策の大綱	主要事業	計画額 A	実績額 B	増(△)減額 B−A	執行率 B/A×100
		千円	千円	千円	%
1　水と緑豊かな地球環境にやさしいまち	施設事業 （4事業）	1,995,005	1,588,843	△ 406,162	79.6
	非施設事業 （6事業）	3,149,014	2,777,753	△ 371,261	88.2
	小計 （10事業）	5,144,019	4,366,596	△ 777,423	84.9
2　未来を担うこどもを育むまち	施設事業 （6事業）	7,994,587	7,312,044	△ 682,543	91.5
	非施設事業 （6事業）	1,268,484	988,768	△ 279,716	77.9
	小計 （12事業）	9,263,071	8,300,812	△ 962,259	89.6
3　区民の力で築く元気に輝くまち	施設事業 （8事業）	9,149,850	8,313,681	△ 836,169	90.9
	非施設事業 （6事業）	263,767	223,225	△ 40,542	84.6
	小計 （14事業）	9,413,617	8,536,907	△ 876,710	90.7
4　ともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち	施設事業 （11事業）	3,804,254	3,039,062	△ 765,192	79.9
	非施設事業 （5事業）	1,226,894	1,208,247	△ 18,647	98.5
	小計 （16事業）	5,031,148	4,247,309	△ 783,839	84.4
5　住みよさを実感できる世界に誇れるまち	施設事業 （11事業）	8,485,791	6,119,404	△ 2,366,388	72.1
	非施設事業 （8事業）	1,265,050	725,783	△ 539,267	57.4
	小計 （19事業）	9,750,841	6,845,187	△ 2,905,654	70.2
計画の実現に向けて	施設事業 （3事業）	31,460	21,879	△ 9,581	69.5
	非施設事業 （2事業）	401,100	500,112	99,012	124.7
	小計 （5事業）	432,560	521,991	89,431	120.6
合　　計	76事業	39,035,256	32,818,801	△ 6,216,455	84.1

（注）計数については、原則として表示単位未満を四捨五入しているため、各項目の内訳額、小計欄及び合計欄の金額が一致しない場合がある。

(3) 月別収支状況

一般会計における本年度の月別収支状況は、第 25 表のとおりである。

第 25 表　月別収支状況

一般会計　　（単位:円）

区分＼年月	7年4月	5月	6月	7月
収入	10,984,884,418	14,068,765,570	19,761,296,864	21,098,124,010
支出	13,522,380,927	15,711,862,725	20,392,923,166	17,013,311,994
収支差引	△ 2,537,496,509	△ 1,643,097,155	△ 631,626,302	4,084,812,016
累計収支差引	△ 2,537,496,509	△ 4,180,593,664	△ 4,812,219,966	△ 727,407,950

区分＼年月	7年8月	9月	10月	11月
収入	18,913,476,744	21,996,432,347	15,420,292,473	23,890,339,197
支出	19,067,518,705	19,756,279,565	20,537,771,270	12,352,964,184
収支差引	△ 154,041,961	2,240,152,782	△ 5,117,478,797	11,537,375,013
累計収支差引	△ 881,449,911	1,358,702,871	△ 3,758,775,926	7,778,599,087

区分＼年月	7年12月	8年1月	2月	3月
収入	18,082,404,883	17,034,773,008	17,339,471,729	54,242,971,611
支出	21,537,971,056	17,026,494,251	15,988,231,818	22,675,859,104
収支差引	△ 3,455,566,173	8,278,757	1,351,239,911	31,567,112,507
累計収支差引	4,323,032,914	4,331,311,671	5,682,551,582	37,249,664,089

区分＼年月	8年4月	5月	計
収入	7,413,236,449	22,338,377,518	282,584,846,821
支出	22,436,301,287	35,557,790,016	273,577,660,068
収支差引	△ 15,023,064,838	△ 13,219,412,498	9,007,186,753
累計収支差引	22,226,599,251	9,007,186,753	9,007,186,753